

(別記)

令和4年度由利本荘市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市は、秋田県の令和3年産の水田における作付状況（確定値）で、主食用米の作付けが5,291ha（25市町村中の3位）と主食用米の主産地であるが、主食用米の日本国内の需要量は人口減少等の影響により毎年減少しており、その結果、令和3年産と同様に令和4年産の主食用米の価格の下落が予想される。よって、当市は他市より主食用米の作付面積が大きいと、主食用米の価格の下落の影響が大きい。

本来なら主食用米の需要減少に対応するために、水田を畑地化し、畑作物の規模拡大を図るべきだが、本市は畑作物に不向きな湿田が多いため対応が難しい。そのため、主食用米の作付の技術や機械が共通している水田活用米穀の加工用米、備蓄米を増加させ対応してきた。

令和3年産の加工用米については、需要に応じた生産に取り組むことができたが、近年の全国的な供給量の増加で、今後は更なる増加は難しい。そのため、飼料用米の生産拡大を図りながら主食用米の需給調整に取り組む必要がある。

また、土地利用型作物については、大豆の生産振興を図ってきたが、近年、気象条件に恵まれず、不作が続いたことで生産意欲の減退に繋がり作付面積は減少傾向にある。そばについては、不作付地の解消に活用できる有望な作物として生産振興を図ってきた。その結果、農作業受託組織が整ってきたこともあり、今後も生産拡大が見込まれる。

飼料作物については、耕種農家と畜産農家の連携による作業受委託により、安定的な生産が行われている。

重点・準重点振興作物の規模拡大については、県・市の事業として、生産に係る資材・施設等への支援も行っているが、作付面積は減少している。よって、産地交付金の取組の団地化加算助成の単価引き上げの周知や、新たに果樹のぶどう（シャインマスカット）を重点振興作物に追加し、重点・準重点振興作物の作付面積の拡大を図る。

振興作物・その他振興作物の野菜・花きについては、多種多様な消費者ニーズに対応するために生産量が少ないものも含めて供給体制を整えて実需に対応する。

いずれにしても、主食用米の消費減少に対応するために、本市においても主食用米から他作物への転換を加速する必要がある。このため、水田をフルに活用し、土地利用型作物の生産性向上や収益性の高い作物の生産などにより収益性を高め、農業経営の安定に結びつけることが最も重要な課題となっている。

また、今後5年間（R4～R8）に一度も水張りが行われない農地は交付対象水田としない方針との発表により、将来、交付対象水田から外れる可能性があり、そのほ場については、自己保全又は耕作放棄地になる可能性がある。

今後の対応としては、そばなど転作作物が固定化している水田の畑地化を促し産地づくりを目指す。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

主食用米の価格下落の影響を少しでも緩和するために主食用米から高収益作物へ作物転換が必要である。その対応として、重点・準重点振興作物の規模拡大のため、現在ある個票の「野菜・花き団地化加算助成」の単価引き上げの周知、農地集約や作物転換を誘導する。

また、JA秋田しんせいでは農業研修制度を創設し新たな農業参入者を募り、農業所得増大と地域農業の活性化に向け、ぶどう（シャインマスカット）の産地化を目指すために研修用ハウスを建設する。そのため、本市としては農業所得増加や地域農業の活性化のために、ぶどう（シャインマスカット）を重点振興作物に追加し、重点・準重点振興作物の作付面積の拡大を図り高収益作物の規模拡大を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の有効活用として、主食用米から水田活用米穀や、そば等への作物転換を進めていく。そのために現在の産地交付金の取組助成の維持が必要である。

長年の生産調整により、野菜等の栽培が定着した水田については、今後は畑地化を推進して、農地の有効利用を図る。

令和3年度は水稻を組み入れない作付体系が定着している由利地区の蟹沢字上ノ台を「そば・牧草」団地として畑地化した。今後もそばなど転作作物が固定化している水田の畑地化を促し産地づくりを目指す。

また、ブロックローテーションについては現在、西目地区で実施しているが、西目地区は水稻作付をするための農業用水の不足という事情があり、そのため地域の合意形成ができて実施が可能になっている。しかし、他地区はその課題がないために他地区にこの取組を広げるのは難しい。

4 作物ごとの取組方針等

本市の9,556haの水田について、適地適作を基本に、産地交付金を有効に活用しながら作物生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

米の食味ランキング特Aの継続した獲得に向け、土づくりを基本とした、安全・安心な、高品質・良食味米の生産を継続する。また、需要動向を見極めつつ、消費者ニーズに対応した、売れる米づくりを推進し、米の主産地としての地位を確保する。

(2) 備蓄米

政府の買入入札で落札した数量に応じた取組であり、需要に応じた生産を行う。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

実需者を確保する取組を進めながら、飼料用米の複数年契約の推進、栽培マニュアルに基づく施肥管理の実施により収量の向上を目指す。また、1ha以上の団地化による効率化等の取組により面積拡大を図る。さらに、コンタミ防止のため、当面の間、主食用品種の取組による生産拡大を図る。

また、作付ほ場の稲わら利用、ほ場への堆肥施用を行うことにより、耕種農家と畜産農家の連携強化、資源の有効活用を図る。

イ 米粉用米

令和3年度時点では該当なしだが、主食用米の消費減少に対応するために今後は米の有効活用の一つとして米粉用米に取り組む。

ウ 新市場開拓用米

既に、一部の農業者が、日本企業の海外店舗へ輸出用米を供給しており、他の農業者にも同様の動きがある。また、集荷業者でも輸出用米への取組を始めており、主食用米の国内需要の縮小に対応して、複数年契約の推進や、販路の多チャンネル化を目指す。

エ WCS用稲

飼料トウモロコシの高騰などから需要が増加しており、地域の畜産農家との連携により、品質向上を目指す。また、ほ場への堆肥の施用を行うことにより、耕種農家と畜産農家の連携強化、資源の有効活用を図る。

オ 加工用米

需要者間の結びつきをもとに生産体制を強化し生産拡大を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦については、該当なし。

大豆については、転作の重点作物として位置づけ、団地化を推進するため産地交付金等を有効に活用するとともに、排水対策や除草対策を徹底することで収量と品質の向上を図る。また、単収不安定の要因である湿害を回避する耕耘・播種技術である大豆300A技術等の導入も推進する。

飼料作物については、耕種農家と畜産農家の連携による安定生産を図って行く。また、ほ場への堆肥の施用を行うことにより、資源の有効活用を図る。

(5) そば、なたね

そば、なたねについては、水田フル活用の観点から、不作付地を有効に活用できる作物として位置づけ、産地交付金を活用し団地化推進、湿害対策を徹底することにより品質、生産性の向上を図るとともに地域の実需者との契約を基本として、作付拡大を目指す。

(6) 地力増進作物

地力増進作物については、該当なし。

(7) 高収益作物

野菜・花き等については、複合経営の柱となる作物として位置付ける。その中で産地化やブランド化が図られつつある作物としてアスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊を市の重点振興作物に、サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリを準重点振興作物に選定し、産地交付金をはじめ、強い農業担い手づくり総合支援交付金や、夢ある園芸産地創造事業など、国や県の支援策を活用し、収益性の高い水田営農の定着を図るとともに、団地化による生産性向上でコスト低減を目指す。そして、市場の評価を高めることで主産地化を図り、スケールメリットを生かした有利販売に繋げていく。

また、JA秋田しんせいでは農業研修制度を創設し新たな農業参入者を募り、農業所

得増大と地域農業の活性化に向け、ぶどう（シャインマスカット）の産地化を目指すために研修用ハウスを建設する。そのため、当市としては農業所得増加や地域農業の活性化のために、ぶどう（シャインマスカット）を重点振興作物に追加し、重点・準重点振興作物の作付面積の拡大を図り高収益作物の規模拡大を図る。

（8）景観形成作物

道の駅にしめ周辺の水田で、観光用途で景観ひまわりの栽培を継続している。この取組は、直売所への集客に繋がっており、水田農家の大きな収入源となっていることから助成を継続する。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	5,291.87	0.00	5,225.21	0.00	5,120.71	0.00
備蓄米	549.33	0.00	432.38	0.00	432.38	0.00
飼料用米	158.72	0.00	200.00	0.00	200.00	0.00
米粉用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
新市場開拓用米	2.84	0.00	3.46	0.00	3.46	0.00
WCS用稲	151.35	0.00	158.50	0.00	158.50	0.00
加工用米	395.40	0.00	423.14	0.00	423.14	0.00
麦	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
大豆	215.66	0.00	190.00	0.00	190.00	0.00
飼料作物	334.98	0.00	336.41	0.00	336.41	0.00
・子実用とうもろこし	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そば	381.27	0.00	457.43	0.00	480.30	0.00
なたね	1.95	0.00	1.95	0.00	1.95	0.00
地力増進作物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
高収益作物	414.89	0.00	443.42	0.00	470.08	0.00
・野菜	164.32	0.00	173.39	0.00	176.64	0.00
アスパラガス	46.41	0.00	52.00	0.00	53.56	0.00
ミニトマト	4.92	0.00	5.34	0.00	5.50	0.00
キャベツ	21.22	0.00	20.29	0.00	20.90	0.00
サヤインゲン	2.89	0.00	3.79	0.00	3.90	0.00
スイカ	7.90	0.00	8.72	0.00	8.98	0.00
ピーマン	1.55	0.00	1.33	0.00	1.37	0.00
ねぎ	5.08	0.00	5.03	0.00	5.18	0.00
馬鈴薯	1.89	0.00	2.06	0.00	2.12	0.00
なす	5.28	0.00	6.16	0.00	6.35	0.00
未成熟そらまめ	0.45	0.00	0.41	0.00	0.42	0.00
スナップえんどう	0.86	0.00	0.89	0.00	0.91	0.00
セリ	1.74	0.00	2.14	0.00	2.20	0.00
さやえんどう	0.91	0.00	0.98	0.00	0.98	0.00
ほうれん草	1.36	0.00	1.21	0.00	1.21	0.00
トマト(ミニトマトを除く)	1.36	0.00	1.69	0.00	1.69	0.00
えだまめ	13.84	0.00	12.91	0.00	12.91	0.00
メロン	2.36	0.00	2.76	0.00	2.76	0.00
きゅうり	1.11	0.00	1.27	0.00	1.27	0.00
大根	0.59	0.00	1.11	0.00	1.11	0.00
山の芋	0.56	0.00	0.56	0.00	0.56	0.00
スイートコーン	1.54	0.00	2.04	0.00	2.04	0.00
ブロッコリー	0.49	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00
白菜	1.28	0.00	1.04	0.00	1.04	0.00
フキ	18.36	0.00	20.77	0.00	20.77	0.00
にんじん	0.40	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
みょうが	0.50	0.00	0.68	0.00	0.68	0.00
ニラ	0.14	0.00	0.03	0.00	0.03	0.00
モロヘイヤ	0.05	0.00	0.06	0.00	0.06	0.00
里芋	0.87	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00
菌床しいたけ	0.28	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
タラの芽	6.36	0.00	6.37	0.00	6.37	0.00
たまねぎ	2.85	0.00	1.74	0.00	1.74	0.00
にんにく	0.97	0.00	1.61	0.00	1.61	0.00
きくいも	0.84	0.00	0.71	0.00	0.71	0.00
さつまいも	0.74	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
ゆうがお	0.44	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
オクラ	0.71	0.00	0.67	0.00	0.67	0.00
アスパラ菜	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
レタス	0.17	0.00	0.06	0.00	0.06	0.00
いちご	0.14	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
しそ	0.11	0.00	0.11	0.00	0.11	0.00
カナカブ	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
ぜんまい	0.03	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
わらび	2.78	0.00	2.51	0.00	2.51	0.00
ウド	0.75	0.00	0.68	0.00	0.68	0.00
マコモダケ	0.46	0.00	0.39	0.00	0.39	0.00
原木しいたけ	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
・花き・花木	33.49	0.00	37.13	0.00	38.20	0.00
りんどう	23.38	0.00	25.48	0.00	26.25	0.00
小菊	7.53	0.00	9.28	0.00	9.56	0.00
輪菊	0.10	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00
菊類(小菊・輪菊を除く)	0.58	0.00	0.49	0.00	0.49	0.00
トルコギキョウ	0.79	0.00	0.83	0.00	0.83	0.00
バラ	0.36	0.00	0.36	0.00	0.36	0.00
アスター	0.26	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00
ストック	0.00	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00
ダリア	0.39	0.00	0.37	0.00	0.37	0.00
グラジオラス	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
スターチス	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
花ハス	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
・果樹	7.28	0.00	8.32	0.00	17.33	0.00
ぶどう(シャインマスカット)	0.11	0.00	1.00	0.00	10.00	0.00
ブルーベリー	0.60	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00
プラム	0.87	0.00	0.55	0.00	0.55	0.00
りんご	4.78	0.00	5.08	0.00	5.08	0.00
ぶどう(シャインマスカットを除く)	0.20	0.00	0.29	0.00	0.29	0.00
和なし	0.59	0.00	0.77	0.00	0.77	0.00
いちじく	0.13	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
・その他の高収益作物	4.73	0.00	5.73	0.00	5.73	0.00
葉たばこ	2.81	0.00	3.49	0.00	3.49	0.00
小豆	1.48	0.00	1.73	0.00	1.73	0.00
えごま	0.44	0.00	0.51	0.00	0.51	0.00
その他	1.90	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
・景観作物ひまわり	1.90	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
畑地化	7.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	重点振興作物（基幹作物） 【地域の重点振興作物】アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊、ぶどう（シャインマスカット）	重点振興作物助成	作付面積	(令和3年度) 104 ha	(令和5年度) 116 ha
2	準重点振興作物（基幹作物） 【地域の準重点振興作物】サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリ	準重点振興作物助成	作付面積	(令和3年度) 28 ha	(令和5年度) 32 ha
3	重点振興作物、準重点振興作物（基幹作物） 【地域の重点振興作物】アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊 【地域の準重点振興作物】サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリ	野菜・花き団地化加算助成	作付面積	(令和3年度) 131 ha	(令和5年度) 148 ha
			取組面積	(令和3年度) 51 ha	(令和5年度) 55 ha
4	振興作物（基幹作物） 【地域の振興作物】さやえんどう、ほうれん草、トマト（ミニトマトを除く）、えだまめ、メロン、きゅうり、大根、山の芋、スイートコーン、ブロッコリー、白菜、フキ、にんじん、みょうが、ニラ、モロヘイヤ、里芋、菊類(小菊・輪菊を除く)、トルコギキョウ、バラ、ブルーベリー、プラム、菌床しいたけ、タラの芽、葉たばこ、小豆、たまねぎ	振興作物助成	作付面積	(令和3年度) 63 ha	(令和5年度) 63 ha
5	その他振興作物（基幹作物） 【地域のその他振興作物】にんにく、きくいも、さつまいも、ゆがお、オクラ、アスパラ菜、レタス、いちご、しそ、カナカブ、ぜんまい、わらび、ウド、マコモダケ、原木しいたけ、アスター、ストック、ダリア、グラジオラス、スターチス、花ハス、りんご、ぶどう（シャインマスカットを除く）、和なし、いちじく、えごま	その他振興作物助成	作付面積	(令和3年度) 16 ha	(令和5年度) 17 ha
6	大豆（基幹作物）	大豆湿害対策加算助成（300A技術）	作付面積	(令和3年度) 216 ha	(令和5年度) 190 ha
			取組面積	(令和3年度) 60 ha	(令和5年度) 74 ha
			10a当たり収穫量	(令和3年度) 89 kg/10a	(令和5年度) 116 kg/10a
7	大豆（基幹作物）	大豆除草・湿害対策加算助成（明渠等）	作付面積	(令和3年度) 216 ha	(令和5年度) 190 ha
			取組面積	(令和3年度) 133 ha	(令和5年度) 146 ha
			10a当たり収穫量	(令和3年度) 89 kg/10a	(令和5年度) 116 kg/10a
8	大豆（基幹作物）	大豆団地化加算助成	作付面積	(令和3年度) 216 ha	(令和5年度) 190 ha
			取組面積	(令和3年度) 159 ha	(令和5年度) 170 ha
			10a当たり収穫量	(令和3年度) 89 kg/10a	(令和5年度) 116 kg/10a
9	そば（基幹作物）	そば集積湿害対策加算助成	作付面積	(令和3年度) 381 ha	(令和5年度) 480 ha
			取組面積	(令和3年度) 295 ha	(令和5年度) 297 ha
			10a当たり収穫量	(令和3年度) 66 kg/10a	(令和5年度) 57 kg/10a
10	そば（基幹作物）	そば団地化加算助成	作付面積	(令和3年度) 381 ha	(令和5年度) 480 ha
			取組面積	(令和3年度) 124 ha	(令和5年度) 97 ha
			10a当たり収穫量	(令和3年度) 66 kg/10a	(令和5年度) 57 kg/10a

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
11	なたね（基幹作物）	なたね集約化・地力向上・湿害対策加算助成	作付面積	(令和3年度) 2 ha	(令和5年度) 2 ha
			取組面積	(令和3年度) 0 ha	(令和5年度) 2 ha
			10a当たり収穫量	(令和3年度) 44 kg/10a	(令和5年度) 107 kg/10a
12	飼料用米（基幹作物）	飼料用米の生産性向上取組助成	作付面積	(令和3年度) 159 ha	(令和5年度) 200 ha
			取組面積	(令和3年度) 82 ha	(令和5年度) 278 ha
			10a当たり収穫量	(令和3年度) 657 kg/10a	(令和5年度) 664 kg/10a
13	飼料用米（基幹作物）	飼料用米の作業効率化助成	作付面積	(令和3年度) 159 ha	(令和5年度) 200 ha
			取組面積	(令和3年度) 113 ha	(令和5年度) 278 ha
			コスト削減額	(令和3年度) 7,013千円 6,206/10a	(令和5年度) 17,252千円 6,206円/10a
14	飼料作物（基幹作物） 【飼料作物】青刈りとうもろこし、青刈り麦（ライ麦又はエン麦を含む）、子実用エン麦、飼料用青刈り稲、わら専用稲、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、ハイブリッドライグラス、クローバ、飼料用かぼちゃ、アルファルファ	飼料作物団地化加算助成	作付面積	(令和3年度) 335 ha	(令和5年度) 336 ha
			取組面積	(令和3年度) 75 ha	(令和5年度) 83 ha
			10a当たり収穫量	(令和3年度) 1,064 kg/10a	(令和5年度) 988 kg
15	飼料作物（基幹作物） 【飼料作物】青刈りとうもろこし、青刈り麦（ライ麦又はエン麦を含む）、子実用エン麦、飼料用青刈り稲、わら専用稲、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、ハイブリッドライグラス、クローバ、飼料用かぼちゃ、アルファルファ	飼料作物作業集積助成	作付面積	(令和3年度) 335 ha	(令和5年度) 336 ha
			取組面積	(令和3年度) 143 ha	(令和5年度) 176 ha
16	飼料用米（基幹作物） (飼料用米生産ほ場の稲わら)	耕畜連携助成（わら利用）	作付面積	(令和3年度) 159 ha	(令和5年度) 556 ha
			取組面積	(令和3年度) 11 ha	(令和5年度) 18 ha
17	粗飼料作物等（基幹作物） (粗飼料作物等の範囲は別紙5に定めた作物とする。)	耕畜連携助成（資源循環）	作付面積	(令和3年度) 486 ha	(令和5年度) 485 ha
			取組面積	(令和3年度) 17 ha	(令和5年度) 12 ha
18	景観作物ひまわり（基幹作物）	景観作物助成	作付面積	(令和3年度) 2 ha	(令和5年度) 2 ha
			直売所販売金額 (8月期)	(令和3年度) 5,111千円	(令和5年度) 5,987千円
19	飼料用米・米粉用米（基幹作物）	飼料用米・米粉用米の複数年契約への取組助成	飼料用米複数年契約 取組面積・数量	(令和3年度) 134 ha 880 トン	(令和5年度) 275 ha 1,723トン
			飼料用米作付面積 ・数量	(令和3年度) 159 ha 1,045トン	(令和5年度) 344 ha 2,153トン
			米粉用米複数年契約 取組面積・数量	(令和3年度) 0 ha 0トン	(令和5年度) 0 ha 0トン
			米粉用米作付面積 ・数量	(令和3年度) 0 ha 0トン	(令和5年度) 0.01ha 0.5 トン
20	そば、なたね（基幹作物）	そば・なたね振興助成	作付面積 そば面積 なたね面積	(令和3年度) 383 ha 381 ha 2 ha	(令和5年度) 482 ha 480 ha 2 ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

新様式(公表用)

7 産地交付金の活用方法の概要

協議会名: 秋田県由利本荘市地域農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	重点振興作物助成(露地)	1	43,300	アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊、ぶどう(シャインマスカット)	実需者等と契約を締結し、出荷販売
1	重点振興作物助成(施設)	1	69,400		
2	準重点振興作物助成(露地)	1	34,700	サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリ	実需者等と契約を締結し、出荷販売
2	準重点振興作物助成(施設)	1	52,000		
3	野菜・花き団地化加算助成	1	8,600	アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、りんどう、小菊 サヤインゲン、スイカ、ピーマン、ねぎ、馬鈴薯、輪菊、なす、未成熟そらまめ、スナップえんどう、セリ	実需者等と契約を締結し、出荷販売
4	振興作物助成(露地)	1	14,000	さやえんどう、ほうれん草、トマト(ミニトマトを除く)、えだまめ、メロン、きゅうり、大根、山の芋、スイートコーン、ブロッコリー、白菜、フキ、にんじん、みょうが、ニラ、モロヘイヤ、里芋、菊類(小菊・輪菊を除く)、トルコギキョウ、バラ、ブルーベリー、プラム、菌床しいたけ、タラの芽、葉たばこ、小豆、たまねぎ	実需者等と契約を締結し、出荷販売
4	振興作物助成(施設)	1	16,000		
5	その他振興作物助成	1	5,000	にんにく、きくいも、さつまいも、ゆうがお、オクラ、アスパラ菜、レタス、いちご、しそ、カナカブ、ぜんまい、わらび、ウド、マコモダケ、原木しいたけ、アスター、ストック、ダリア、グラジオラス、スターチス、花ハス、りんご、ぶどう(シャインマスカットを除く)、和なし、いちじく、えごま	実需者等と契約を締結し、出荷販売
6	大豆湿害対策加算助成(300A技術)	1	4,300	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
7	大豆除草・湿害対策加算助成(明渠等)	1	8,600	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
8	大豆団地化加算助成(50a)	1	2,600	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
8	大豆団地化加算助成(1ha)	1	5,200	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
8	大豆団地化加算助成(3ha)	1	17,300	大豆	実需者等と契約を締結し、出荷販売
9	そば集積湿害対策加算助成	1	17,300	そば	実需者等と契約を締結し、出荷販売

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
10	そば団地化加算助成	1	4,300	そば	実需者等と契約を締結し、出荷販売
11	なたね集約化・地力向上・湿害対策加算助成	1	19,000	なたね	実需者等と契約を締結し、出荷販売
12	飼料用米の生産性向上取組助成	1	4,300	飼料用米	実需者等と契約を締結し、出荷販売
13	飼料用米の作業効率化助成	1	4,300	飼料用米	実需者等と契約を締結し、出荷販売
14	飼料作物団地化加算助成	1	4,300	青刈りとうもろこし、青刈り麦(ライ麦又はエン麦を含む)、子実用エン麦、飼料用青刈り稲、わら専用稲、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、ハイブリッドライグラス、クローバ、飼料用かぼちゃ、アルファルファ	1ha以上の団地形成
15	飼料作物作業集積助成	1	5,200	青刈りとうもろこし、青刈り麦(ライ麦又はエン麦を含む)、子実用エン麦、飼料用青刈り稲、わら専用稲、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、ハイブリッドライグラス、クローバ、飼料用かぼちゃ、アルファルファ	3ha以上の作業集積
16	耕畜連携助成(わら利用)	3	11,200	飼料用米	飼料用米生産ほ場の稲わらを出荷
17	耕畜連携助成(資源循環)	3	11,200	飼料用青刈り稲、WCS用稲、オーチャードグラス、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、チモシー	堆肥の散布量が10a当たり2tまたは4m ³ 以上
18	景観作物助成	1	3,400	景観作物ひまわり	栽培指針に沿った肥培管理 ※対象ほ場が限定
19	飼料用米・米粉用米の複数年契約への取組助成	1	6,000	飼料用米・米粉用米	3年以上の複数年契約の締結し出荷
20	そば・なたね振興助成	1	20,000	そば・なたね	実需者等と契約を締結し、出荷販売

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。